

C-1 指導案

3年2組（Bコース）英語科学習指導案

日 時：11月19日 第4限目

場 所：3階少人数教室

1. 単元名 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3
PROGRAM 8 A Work Experience Program

2. 単元目標

- ① 分詞や接触節による後置修飾を用いた会話活動に積極的に取り組もうとしている。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ② 分詞や接触節による後置修飾を正しく用いて、身の周りの人やものを表現することができる。
(表現の能力)
- ③ 分詞や接触節による後置修飾を用いて表現された名詞句が表すものを正しく聞き取ることができる。また、職業体験学習についての英文の要点を理解することができる。
(理解の能力)
- ④ 分詞や接触節による後置修飾を用いた表現の構造を正しく理解している。
(言語や文化についての知識・理解)

3. 単元指導計画及び評価計画・評価規準

	観 点 内 容	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②表現の能力	③理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
第1次 (4時間) 本時1/4	〔セクション1文型〕 ・現在分詞による後置修飾の用法を理解し、まわりの人や物事について表現する。	ア. 現在分詞の後置修飾を含む名詞句を用いて、相手に尋ねたり、応答したりしようとしている。	ア. 現在分詞の後置修飾を用いて、まわりの人や物事について簡単な英語で説明できる。		
	〔セクション2文型〕 ・過去分詞による後置修飾の用法を理解し、身の回りのものを表現する。		イ. 身の回りのものについて、過去分詞の後置修飾を正しく用いて話すことができる。	ア. 過去分詞の後置修飾を含む文を正しく聞き取ることができる。	
	〔セクション3文型〕 ・接触節による後置修飾の用法を用いて、人からもらった品物について情報交換する。	イ. 対話例を参考にして、人からもらった品物について情報交換しようとしている。		イ. 相手の話す英語を正しく聞き取ることができる。	
	〔確認テスト〕 ・分詞や接触節による後置修飾を用いた文の意味やしぐみを理解することができたか確認する。		ウ. 与えられた条件を用いて正しい英文を書くことができる。		ア. 分詞や接触節による後置修飾を用いた文の意味やしぐみを理解している。

第2次 (1時間)	コース別	[Aコース] ・文型のドリル練習を行う。	ウ. 既習文型を用いて、対話しようとしている。			イ. 既習文型を理解し、文構造の知識を身につけている。
		[Bコース] ・ Show and Tell の活動を行う。	ウ. 聞き手を意識して、より多くの情報を伝えようとしている。			
第3次 (4時間)	[セクション1本文～3本文] ・本文の内容を理解し、音読または暗唱をする。			エ. 正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて、本文を音読したり、暗唱したりできる。	ウ. 本文の大切な部分を正しく聞き取ったり、読み取ったりすることができる。	
	[Check and Use] ・単元で学習したことを振り返り、定着を図る。 ・将来つきたい職業や職業体験について簡単な英語で説明する。			オ. 将来つきたい職業や職業体験について、自分の考えを取り入れて英文を書くことができる。	エ. 聞いたたり、読んだたりした内容について、True or Falseで正しく答えることができる。	
第4次 (1時間)	[到達度判定テスト] ・単元の到達度を確かめる。		カ. 場面に応じた英文を正しく書くことができる。	オ. 与えられた内容について正しく聞き取ったり、読み取ったりすることができる。	ウ. 語句の使い分けや文構造について理解している。	

4. 指導にあたって

(1) 教材観

本課は職業体験学習についての報告を題材としており、由紀と武がそれぞれのグループを代表して、自分たちが行った職業体験学習についてクラスでスピーチをするという内容である。本校でも、10月にトライアルウィークを設けており、この週の中で2年生が「わく・ワーク職場体験学習」という取り組みを3日間行っている。3年生の生徒たちも昨年度この職場体験学習を経験している。中にはキャノン先生と同じく病院で体験学習を行った生徒や武のように接客の職種を体験した生徒もいるので、本課の内容は生徒たちの体験と重なる部分が多く興味深い。このような内容の学習によって、生徒が自分の体験や自分の将来つきたい仕事について英語で説明できるようにすることが本課の最終的なねらいである。

言語材料については、現在分詞、過去分詞、接触節の後置修飾について学習する。これらを用いてまわりの人や物事について描写や説明ができるようにすることが本課のねらいのひとつである。現在分詞や過去分詞は、修飾する語の前に置かれる場合と後ろに置かれる場合がある。ここでは後置修飾を指導するが、これは日本語にはない形であるので語順に特に注意する必要がある。

(2) 生徒観

男子7名、女子9名の習熟度別による少人数クラスである。コースの決定については、生徒の希望とProgram6までの到達度判定テストの結果を参考にしてクラス編成を行なった。比較的英語を得意とする生徒の集まりではあるが、速読が苦手な生徒や文法の理解に少々時間のかかる生徒もいる。また、途中から基礎・基

本のAクラスから移行してきた生徒もあり、その生徒については授業の進め方に慣れてなくて少々とまどっている様子も見られる。しかし、全体的に男女の仲が良く、明るい雰囲気の中で授業を進めることができる。ペアでの対話練習やグループ活動を好み、本校の共通視点である生徒どうしの学び合いや聴き合いが自然とできるクラスである。

(3) 指導観

今年度より各単元の指導計画を変更した。単元の言語材料（文法事項）をすべて指導してから本文の内容に入るという形をとっている。その方が本文の内容が途切れることなく進めることができ、文法事項の振り返りもできるので、生徒は理解しやすいのではないかという仮説のもとで行っている。本課は現在分詞、過去分詞、接触節の後置修飾が言語材料になっており、ともに文のしくみが同じことから続けて指導した方が分かりやすいと思われる。

3年生は今年度「平和」「国際理解・協力」「環境」「人権・福祉」の4つのテーマを設けて地元でできる体験学習を行った。生徒たちのこの学習を本課の授業で生かすことができればと考え、本文の導入の興味づけを兼ねて自分たちの体験を英語で説明する活動を取り入れることにした。一人でとりくむには重い課題となるので、グループで協力して作り上げるものとして取り組ませたい。

5. 本時の目標

(1) 目標

- ・コミュニケーション活動に積極的に取り組むことができる。
- ・現在分詞の後置修飾のしくみを理解し、まわりの人や物事について簡単な英語で説明できる。

(2) 準備 ワークシート、基本文プリント、絵カードと文字カード、ピクチャー、和英辞典など

(3) 評価規準及び基準

学習内容	規 準	評 価 基 準		評価方法
		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	
I 現在分詞の後置修飾を含む文を用いて、コミュニケーション活動に取り組む。	① ア	現在分詞の後置修飾を含む名詞句を用いて、積極的に相手に尋ねたり、応答したりしようとしている。	現在分詞の後置修飾を含む名詞句を用いて、相手に尋ねたり、応答したりしようとしている。	観察
II 現在分詞の後置修飾を用いて、まわりの人や物事について表現する。	② ア	現在分詞の後置修飾を用いて、まわりの人や物事についてやや詳しい英語で説明できる。	現在分詞の後置修飾を用いて、まわりの人や物事について簡単な英語で説明できる。	観察 記述 (ワークシート)

(4) 学習過程

学習の流れ	生徒の学習活動	指導上の留意点(●)と評価(○)
1. Greetings (1分)	・英語で挨拶をする。	●明るく爽やかに！
2. Warm-up (5分)	・ALTのSmall Talkを聞いて、内容を理解する。 本時のトピックは“Tooth Fairy”	●理解の助けとなるように、絵や写真を用いる。

	<p>〔説明文〕</p> <p>Look at the students _____ ing _____.</p> <p>They are the students of Midorigaoka J.H.S.</p> <p>They learned about _____ and thought what they can do in their city, Suzu.</p> <p>So they _____.</p> <p>They had a good experience.</p> <p>Now they hope _____.</p> <p style="text-align: right;">Thank you.</p> <p>② 各グループの代表ができた説明文を発表する。</p>	<p>○II②ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞の後置修飾を用いて、まわりの人や物事について簡単な英語で説明できる。 ●英文が作れないグループには参考になる単語や語句を示しアドバイスする。 ●どのグループの説明が良いか相互評価させる。
<p>6. Consolidation (4分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本文プリントを行う。(Step 1 ~ 3) 	

板書例

November 19th (Friday) Program 8-1

体験学習

point 「~している先生」

The teacher	eating lunch	is Mr. _____.	写 真
	reading a book	is Ms. _____.	写 真
	using a computer	is Mr. _____.	写 真

平和

国際

環境

人権

